

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）  
セッション討議内容の記録

セッション名：地方都市問題（1）	
日付：11月 3日（月）曜日、セッション時間： 9:00～10:30	
司会者名（所属）：谷本圭志（鳥取大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：</p> <p>地方が抱えている問題について，都市からの住民の転居行動，在住の住民の定住行動について議論をした．それぞれについて，問題の構造が何かも必ずしも自明ではない状況にあり，今回の研究がどのようなスタンスにたってどのような構造があると考えて分析しているのか，そのほかにもどのような観点からの分析が必要かについての議論を行った．</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：(224) 牧浩太郎（三菱総合研究所）</p> <p>転居の理由に応じて選択肢が異なる．その点を考慮せずに分析をしても，よい結果が得られないのでは．また，自治体などの第三者が関与できない選択（例えば個人の事情）とそうでないものの割合を明らかにすることができれば，第三者が選択に関与できる可能性が明らかになり，政策的な知見も得られるのでは．</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：(225) 村井祐太（室蘭工業大学）</p> <p>「活動する相手」や「人的ネットワーク」が抽象的なまま議論していても，過疎地域を対象とした問題を議論していることにならないのでは．また，武蔵野市のムーバスではすでにバスの中でのコミュニティが形成できているが，この研究ではそのコミュニティができていればよいと考えるのか．シミュレーションで明らかにしようとするのは何なのか．</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：(226) 川島理佐（室蘭工業大学）</p> <p>北部，中部，南部において，地域でのつきあいやコミュニティ活動にどのような変化があったのか，また，その原因とは何かについて明らかにしていただきたい．</p>